

地域医療連携室だより



日頃より当院の地域医療連携業務にご協力を賜り誠にありがとうございます。
 コロナウイルス感染症が感染症法上「5類」に分類され、様々な制限が緩和されつつありますが、
 今後も一人ひとりの感染対策は重要となります。
 感染状況や社会情勢の変化に向き合いながら、地域住民の皆様が安心して生活できますよう、
 更なる連携を図り地域病院としての役割を果たして参りたいと思っております。
 今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 令和4年度退院支援実績 ◆

相双医療圏退院調整ルールに基づいた退院支援を実施しております。
 今年度も保健・医療・福祉・介護関係機関と連携を図り「調整もれ0」を目指し退院支援を徹底致します。

鹿島厚生病院 令和4年度 退院支援実績 (地域包括ケア病棟退院者より)													
	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	計
退院者数	42	61	31	31	45	45	40	31	30	23	25	42	446
退院支援者数	19	32	21	11	23	22	21	11	17	13	15	21	226
転院支援者数	3	3	2	3	4	3	4	1	2	2	1	2	30
退院調整もれ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

診療科紹介

眼科



齋藤 昌晃 先生

福島県立医科大学
 地域支援視機能再建学講座 教授
 出身大学:福島県立医科大学
 【資格】日本眼科学会眼科専門医
 PDT(光線力学的療法)認定医
 【専門】眼科一般
 網膜硝子体疾患 加齢性黄斑変性

診療日程		
	受付時間	担当医師
月	8:30~11:00	高間 医師
木	13:30~15:00	高間 医師
金	14:00~15:30	齋藤 教授
土	9:00~11:00	齋藤 教授

鹿島厚生病院眼科は福島県医大の関連病院として古くから診療が行われており、数十年前と思われる器具をみるとその歴史がうかがえます。東日本大震災で浜通りの医療体系も変化したと思われませんが、現在もなお進行中の復興・復旧により、鹿島区から福島市、仙台市、いわき市などへのアクセスは向上しています。

当科では、限られた範囲での診療になってしまいますが、最低限の画像診断は可能であるため、特に視機能に直接影響を及ぼす網膜硝子体疾患の早期診断は可能と考えております。治療については、現在非常勤体制でもあり、白内障手術などは不可となっておりますが、糖尿病網膜症などへのレーザー治療は可能で、更には加齢黄斑変性をはじめとする網膜硝子体疾患への抗VEGF療法も少しずつ開始しております。視覚は人の得る外界からの情報の約80%を担うと言われ、私たちの生活上重要な役割であると考えられています。この視覚を改善、維持させるために、スタッフ一同そして南相馬市地域の先生方と共に連携して診療にあたって参りますので、よろしくお願いいたします。

◆ 地域医療連携室だより

患者様のご紹介・ご相談・お問い合わせは、地域医療連携室にご連絡をお願い致します。
 〒979-2442 福島県南相馬市鹿島区横手字川原2番地
 TEL:0244-46-5125(病院代表) 0244-26-3861(地域医療連携室)
 FAX:0244-46-3948(地域医療連携室) E-mail:kkhp-renkei@snow.ocn.ne.jp
 【発行・編集】令和5年 7月発行 JA福島厚生連 鹿島厚生病院 地域医療連携室

